

2004年(平成16年)7月22日(木曜日)

覚えて安心 救急蘇生法

24日、豊橋で教室

欧米では常識の救急蘇生法を覚えて、

一般の人々を対象にした救急蘇生法教室が、24日午前10時から豊橋市大山町の心臓専門病院、豊橋ハートセンターホールで開かれる。

同病院は、これまでも不定期に同教室を行って

いたが、これからは毎月1回ペースで実施したいと準備を整えている。指導するのは同病院の臨床工学士で救急救命士認定資格を持つ杉浦武治さんら。

参加対象は患者、その家族、友人、知人や一般住民と広範囲。身近な人が病気や事故などで倒れた時、救急車が来るまでに心臓マッサージなど応急手当をしてサポート

する方法を覚える。

心臓発作などの場合は、一分一秒の手当てが明暗を分けるといわれ、速やかな応急サポートが重要となる。現在、欧米では成人なら誰でもこの手当て法を身につけていて、いつでもどこでも対応できるのが常識。日本ではまだ普及が進まず、手当てが遅れたため、命を落とす人も多いという。

少しでも多くの人に救急蘇生法を覚えてほしいと、杉浦さんが適切な指導法を伝授する。

内容は、はじめに話を聞いてから実技を行い1時間半程度。タミー人形を使って本番ながらの蘇生法を実践する。参加費は無料で、希望者は同病院玄関ホールに設置の申し込み用紙に氏名などを記入する。

問い合わせは外来の佐藤さん(37・33377)

へ。(星野のりこ)